

第6回 杏林大学大学院保健学研究科講演会

血液透析の原理と技術の進歩

演者: 杏林大学保健学部臨床工学科 副島昭典 教授

日時 平成27年1月22日(木) 18時～19時

場所 杏林大学 三鷹キャンパス 大学院講堂

人工腎臓はこれまでで最も成功し、普及した人工臓器です。しかし、その働きは腎臓の生理的な機能とは異なっています。腎臓は大量の糸球体濾過と尿細管再吸収によって体液の恒常性を維持しています。一方、血液透析は拡散と限外濾過を原理とするものです。

近年、膜技術の進歩と透析液の清浄化によって、on-line HDFが普及しつつあります。これらのことを背景に、本講演ではこれまでの人工腎臓の技術的な進歩を振り返ってみたいと思います。

多くの皆様のご聴講をお待ちしています。

